

宗像市市民参画等推進審議会 会議録（要旨）

日 時	令和3年3月22日（月）16：30～
場 所	メイトム宗像 202会議室
委 員	■ 大賀雄史 ■ 岡田智子 ■ 鎌田隆徳 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 種田明美 ■ 東博子 ■ 福岡佐知子 ■ 山田明 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課政策係（花田課長、中脇係長、成瀬、大久保、佐藤）

1. 市民参画の推進に向けた公募委員、パブリック・コメント、職員研修等のあり方に関する答申案について

「市民参画・協働のさらなる推進に向けて（第3次提言）」の答申案の内容について事務局から資料に基づき説明。

- （意見） 答申案として、よくまとまっている。先進自治体の名前が掲載されているが、このまま名前は残るのか。
- （事務局） 先進自治体の名前は除いたものを提出していただく。答申の中には、記載内容を執行していくにあたっての留意点を記載しており、これは前回の審議会のときに委員の方から出された意見をまとめた重要ポイントを留意点という形で残させてもらう。
- （意見） 市民への啓発を進めるために「市民への市民参画・協働の意識啓発について」の項目にも、コミュニティ運営協議会の協力について明記するべきではないか。
- （意見） 今後の答申の流れはどのようになるのか。
- （事務局） 審議会からいただいた答申を市長や副市長に報告し、優先順位をつけながら実施していく予定である。計画を進めていく中で、審議委員の皆さんからのご意見も参考にしていきたい。公募委員やパブリック・コメントについてはコミュニティ協働推進課が主導して実施していく予定である。
- （意見） 答申に記載している内容が実行されないことはないか。
- （事務局） そういうことにならないために計画を策定していきたいと考えている。年度末の審議会には進捗具合の報告をしたいと考えている。
- （意見） 市民参画条例が制定されてからの3年間は、条例に伴う取組を市職員が実施しているのがよく見られた。また当時の審議会から職員研修の実施を盛り込むよう提言がなされ、その結果、部長を含めて職員全員が研修を受ける職員研修を3ヶ年計画でしていた。条例が制定して10年以上が経過しており、職員も含めて協働や市民参画の意識が薄れていると感じるときがある。そのため、職員研修につ

いてはもう一度、計画を立てて実行する必要があると思う。市民参画条例は宗像市行政の1つの大切な柱であるため、職員も意識できる取組を是非要望したいと考えている。

(事務局) 本日いただいた意見をもとに修正したものを答申としてよろしいか。

(意見) 異議なし。

= 散会 =